

結(ゆい) 第 30 号

発行 関西ねじ協同組合 広報委員会

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル TEL06-6974-0531 FAX06-6975-2181

E-mail info@kansaineji.com

URL <http://www.kansaineji.com>



挨拶に聴き入る参加者

関西ねじ協同組合と大阪鋌螺卸商協同組合との「新春合同互礼会」が1月8日、大阪市中央区「シティプラザ大阪」において開催された。関西ねじ協同組合から組合員・賛助会員合わせて138社・220名、大阪鋌螺卸商協同組合からは71社・98名が参加。

また近畿経済産業局や大阪府商工労働部など行政及び関係諸団体からの来賓などを含め、総勢355名が出席して盛大に新年の門出を祝った。



新年のご挨拶

関西ねじ協同組合

理事長 中 江 良 一
(紀州ファスナー工業(株))

昨年を振り返ってみますと、年初に2人の日本人がイスラム国(IS)によって殺害され、3月にはチュニジアの博物館で日本人3人を含む20数人が乱射され、11月にはフランスで140人もの人々がなくなるテロがあり世界が震撼しました。

また国内では鹿児島県口永良部島・新岳の噴火や鬼怒川の決壊等の自然災害がありました。政治におきましては今年の夏の参議院選挙から18歳以上に選挙権が与えられることが決まり、9月には安部首相の再選、その後 安保法の成立、TPPの大筋合意、消費税率引き上げ時に導入する軽減税率の採用、大阪知事・市長のダブル選挙がありました。

経済・産業界では中国経済の急落、大企業ではVW、タカタ、東芝、旭化成建材等の不祥事・不具合問題の発生。良かった事といえば軍艦島等の明治産業革命遺産がユネスコの世界文化遺産登録に決定、日本人のノーベル医学賞・物理学賞のダブル受賞、ラグビーワールドカップにおける日本代表チームの活躍などがありました。しかし総じて明るい話題の少ない一年であったように思われます。

年が明けてからも中国株市場の急落に影響を受け、日本でも株の下落、円高傾向にあり、景気の回復感にほど遠いスタートではありますが、そんな中1月8日にシティプラザ大阪におきまして、大阪鋳螺卸商協同組合様との二年に一度の合同新春互礼会が開催され、多くのご来賓を始め360名程の皆様に参加していただき明るい活気ある雰囲気の中、盛大に新年を祝うことができました。我々ねじ業界は産業界における幅広いニーズに支えられ、景況には多大な影響は受けますが、各会社のたゆまぬ努力があって非常に根強い業界であります。長い歴史の中、大阪人・関西人は人に頼らず、持ち前の明るさと前向きな資質を持ち合わせていますから少々のことではこたれることはないと確信しております。

さて関西ねじ協同組合におきまして、今年度組合活動に参加された方々の人数はのべ約2000名になると想定されます。また春からの次年度におきましては神戸大学の教授を講師としてお招きし「技術者のためのねじの力学」というテーマで継続的な勉強会を開催いたします(第一回は1月28日に開催済)。また大阪鋳螺卸商協同組合様との共同事業を開始することで大阪・関西のねじ業界にとって新しい年のスタートとなります。まずは親睦からそして製販が相反することなく、共に協力することによって産業界における地位向上、付加価値の創造を目指し少しずつ事業を始めて参ります。

最後に関西ねじ協同組合に対する日頃のご理解に感謝致しますとともに、組合員の皆様にとって有意義な協同組合になりますよう、今まで以上より一層理事一同尽力致しますので、ご協力・ご参加くださいますようお願い申し上げます。

総務委員会

平成28年 合同新春互礼会報告

委員長 松 田 洋 明
(株ヨット印・ダイワ)

平成28年1月8日、「シティプラザ大阪」にて2年に一度の合同新春互礼会が開催されました。今回は大阪鋳螺卸商協同組合が担当幹事のため、大阪鋳螺卸商協同組合 宮川勝総務委員長（ミヤガワ金属販売株式会社）の司会進行で始まりました。

関西ねじ協同組合 中江良一理事長は冒頭の挨拶で「昨年は経済的には当初、秋頃には回復されると思われていたが、中国経済の失速やコンプライアンス問題などで、我々ねじ業界もパッとしない1年だった。しかし今年は大阪人・関西人のポジティブな資質で良い年になると信じております。当組合の活動も大鋳協の皆様と製販の立場の違いを越え同じねじを生業とする者同士、何か新しいこと、面白いことを企画していきたいと検討しております。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い致します。」と述べられました。

続いて、大阪鋳螺卸商協同組合 増谷彰彦理事長は「昨年は大鋳協にとって大きな存在であった、株式会社ヤハタ 八幡進相談役との別れがありました。八幡相談役は偉大な良き先輩であり、いらっしやるだけで心強い存在でした。この場を借りてご冥福をお祈りし、お悔やみ申し上げます」と哀悼の意を述べられました。また、昨年末に発表のあった“今年の漢字”『安』を取り上げて安心安全な製品を供給し、ねじ業界の発展に製販ともに協力していきたい、と挨拶されました。

続いて来賓9氏が壇上で紹介され代表として、森下剛志氏（近畿経済産業局 製造産業課）、平田博文氏（大阪府商工労働部 ものづくり支援課）、河津秀樹氏（大阪市経済戦略局）よりそれぞれが展開する中小企業振興策を交えご祝辞をいただきました。

次に大鋳協の新年恒例行事の歳男への記念品贈呈があり、該当する4名に記念品が贈られました。代表して梅田修平氏（株式会社梅田精密）が謝辞を述べられました。

このあと、関西ねじ協同組合 北井啓之副理事長が乾杯のご発声をされました。宴のなかばで若手経営者で組織するK-2の川端康弘代表幹事（株式会社オー・ピー・ジ）とOS会の大西啓文代表幹事（大西鋳螺株式会社）がそれぞれ会の幹事を紹介され新年の挨拶をされました。

宴もたけなわのころ、大阪鋳螺卸商協同組合 鈴木啓次副理事長（アサヒアペックス株式会社）の中締めの挨拶で散会となりました。

新春互礼会参加者は以下の通りです。

大鋳協・組合員	71社	98名
関西ねじ・正会員	86社	129名
関西ねじ・賛助会員	52社	91名
ご来賓・ご招待者	10団体	22名
報道・事務局	9団体	15名
合 計	228団体	355名

☆ご来賓者名は次の通りです。

近畿経済産業局 製造産業課 課長	森下剛志様
大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課 課長補佐	平田博文様
大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課 副主査	勝部 聡様
大阪市経済戦略局産業振興部 商業担当課長	河津秀樹様
大阪府中小企業団体中央会 副会長	山口春夫様
一般社団法人大阪卸商連合会 専務理事	小池米男様
一般社団法人日本ねじ工業協会 副会長 関西支部長	後藤晴雄様
株式会社商工組合中央金庫 船場支店 支店長	小川健夫様

ご参加の皆様にご心より感謝申し上げます。

フォトフラッシュ



挨拶する関西ねじ協同組合
中江理事長



挨拶する大阪鉚螺卸商協同組合
増谷理事長



来賓一同の紹介



来賓
近畿経済産業局・森下剛志課長



来賓
大阪府商工労働部・平田博文課長補佐



来賓
大阪市経済戦略局産業振興部・河渕秀樹課長



大銀協中り歳代表挨拶
梅田修平氏



乾杯の発声をする関西ねじ協同組合
北井副理事長



K-2 幹事の紹介



O S 会幹事の紹介



閉会の辞を述べる大銀協
鈴木副理事長

海外情報委員会

フィリピン視察

委員長 柳 原 考 至
(ロックファスナー㈱)

平素より組合員ならびに賛助会会員の皆様には、海外情報委員会活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度は新たな試みとして近距離（躍進著しいアジア方面）と遠距離（ヨーロッパ）の2本立てを企画させていただきました。初回の視察旅行として、11月26日～29日の3泊4日でフィリピンのマニラとセブ島に7名で行ってまいりました。

11月26日の朝より関西空港に集合し、マニラに向け出発いたしました。

マニラではJETRO Manila事務所にてアドバイザーである鈴木様よりフィリピンの経済概況と進出日系企業の動向についての講演をしていただきました。

フィリピンでは年齢別の人口構成が理想的なピラミッド型となっており、その平均年齢は23～24歳ときわめて若い国との事です。実際に道中の街中では、日本と違い老人の姿をほとんど見る事はありませんでした。また2016年は大統領選挙となっているのですが、よほどの事がないかぎりフィリピンの経済成長は継続するだろうとの説明をいただきました。

(6～7%で中国以外ではアジアのトップ)

同国は義務教育で英語を使用しているので、アジアではおそらくNo1の英会話能力を持っていると言われていますが、コールセンターの売り上げでは世界一となっており、年間185億ドルの売り上げがあるとの事です。CAD等も海外から請負し（含む日本）国内でCAD製図したものをデータとして送る等のビジネスも盛んだそうです。フィリピンにおける自動車販売数も2割アップ状態が続いており、このまま10年続けばマレーシア並の市場



マニラ市内



勉強会

になるのでは？と言われているそうです。

実際に街中では、他のアジア諸国で見られる様に、自動車の増加に道路等のインフラが追いついていない感じを受けました。

講演後にセブ島へ向かいましたが国内線の遅れにより、同島到着は夜10時頃となりホテルチェックインが23時（日本時間24時）となり遅れてしまいました。翌日の午前中はサンペドロ要塞を見学し昼食としてフィリピンの郷土料理をいただきました。午後の観光ではサントニーニョ教会とマゼランクロスを見学いたしました。最終日はアイランドピクニックとしてカヌーでアルソアン島に行き無数の魚をまじかに観察させていただきました。

今回の旅行の反省点として、またしても日系のネジ企業が視察出来なかった事と旅行中の予定変更が若干あった事でした。

冒頭で遠距離の視察を発表しましたが、パリテロ等の発生により、今一度現地の安全を確認中ですので、今年度のもう一つの視察旅行については見送りとなる可能性がある事をご了承ください。（事務局注：遠距離視察につきましては中止となりました。）



勉強会



ジェトロの玄関にて



要塞前にて



ジェトロ



要塞

技術開発委員会

事業報告

委員長 豊田 裕司
(株式会社 豊田製作所)

当委員会では主に以下の2つのグループでの活動を実施しております。

- ①新しい事グループ：平成28年1月より神戸大学大学院の福岡先生を委員会にお招きし、30年に及ぶねじに関連する研究の成果をお聞きします。この活動は理事会に諮ったところ、「公開委員会」とし、関西ねじのすべての組合員にご案内させていただく事となり、さらに大阪鋳螺卸商協同組合の関心も高く、同組合員にも案内を出すこととなりました。非常に技術的内容の深い講演が中心となりますが、3/2に産創館で実施いたします講演会は、ねじに携わる方ならだれでも参考になるようなお話をご提供いただく予定です。このような企画を実施しながら、当組合員が共同で研究できるテーマを模索してゆきます。
- ②表面処理グループ：今年はFCK法のこれまでの成果と考察を1冊のリーフレットにまとめ、ユーザーへの配布を行い、塩水噴霧よりFCK法の優位性が高いことをアピールいたします。
- ③自動車グループ：車の品質データ(環境関係)に関し、技術的な相談窓口になれないか、模索いたします。自動車部品分科会へ出席し、どのようなニーズがあるかを調査します。
- ④JISグループ：JISの改正案を分科会で模索し、ねじ研を経由して提案します。(ドリルねじ分科会、ボルト分科会のみ活動実態有り)→メンバーが名工大の萩原先生とISO-TC2@米国に参加し、ドイツ・フランスとISO規格に対する一部の問題点について共有できました。そこでは継続してメーカーとして規格の矛盾点をISOに上程してゆく必要性を感じました。ドイツ・フランス・イタリア・アメリカ・中国などはメーカー同席で委員会に臨んでいます。また、日本など自動車メーカーが存在する国の意見は重要視される点はプラスに働きます。小形六角ボルトナットの規格を日本からISO/TC2に上程予定。

人材開発委員会

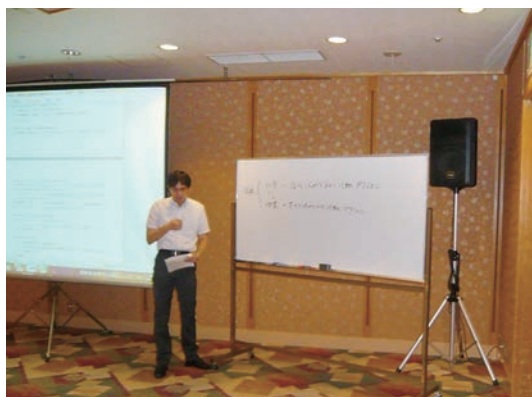
今年度の事業内容について

委員長 由良 宜彦
(嘉 亀 鋼 業 株)

日頃は人材開発委員会の活動に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年度の活動についてご報告申し上げます。

8月28日にホテルアウィーナ大阪にて「経営に生かす経営計画の作り方」と題する講演会を実施致しました。岩垣忠裕氏（岩垣会計事務所 税理士・中小企業診断士）を講師としてお招きし、経営計画の必要性和、利益計画・販売計画についての作り方を学びました。経営計画は、経営の羅針盤とも言われますが、毎期毎に経営計画を立てている企業は少ないのが現状であります。成り行き経営により業績悪化に陥る企業が増える中、会社の目指す方向性と課題を明確にする経営計画の重要性が高いと考え、企画した次第であります。岩垣先生の講演は今回が三度目となります。第一回は、決算書の見方・考え方、第二回は、財務分析、そして今回の経営計画となります。目指すべき目標値など、具体的な数値を盛り込みながら、受講者はワークシートの設問に答える形式で学びました。開催後のアンケートを拝見したところ、経営層の方々が多数、自社の数字の分析方法に関心をお持ちなのだと感じました。



直近の事業としては、2月17日（水）に管理職を対象とした講演会を開催予定です。これは、二部制となっており、第一部は近畿経済産業局様から中小企業施策についてご講演頂きます。補助金や助成金などの情報収集に役立てて頂ければと思います。第二部は、日経メディアプロモーション株の吉田弘行氏をお招きして「日経新聞の読みこなし」と題してご講演頂きます。こちらは、企業の管理職向け講習会などでよく実施されている内容となります。

我々、人材開発委員会ではこれからも会員の皆様のお役に立つような事業を実施して参ります。今後とも宜しくお願い致します。

交 流 委 員 会(会員交流グループ)

第25回 親睦ゴルフコンペを開催

会員交流グループリーダー 今 井 敏 雄

(㈱丸菱ナット製作所)

平成27年11月7日(土)に第25回のゴルフコンペを㈱富士製作所の木村社長にお世話頂き、聖丘カントリー倶楽部にて開催致しました。

秋季コンペは土曜日開催ということで、今回も8組32名でのコンペ開催となりました。

聖丘カントリー倶楽部は骨のある難コースであり、皆さんのスコアにも苦労が見て取れましたが、やはりお上手な方はコース云々ではないと言う事を改めて思い知らされました。

ベストスコアは前々回もお取りになられたマコト産業㈱の池田氏の81であり、コンペの結果は和光金属工業㈱の安藤氏が見事優勝されました、また第25回と言う事で賞品を厚くした25位は中江理事長が獲得され、「さすが理事長やはり違うな」と感服致しました。

何はともあれ無事コンペを終える事が出来ました、ご参加頂きました皆様本当に有難うございました。

次回は平成28年3月23日(水)に泉南カンツリークラブでの開催を予定しております。囲碁クラブと合わせて皆様のご参加をお待ちしております。



参加者一同

第25回 親睦ゴルフコンペ成績

日時:平成27年11月7日(土) 場所:聖丘カントリークラブ

優勝	安藤 秀人	12位	石田 佳史	23位	今井 敏雄
準優勝	西居 厚	13位	松元 収	24位	木田能風子
3位	樫本 隆之	14位	樫本 宏志	25位	中江 良一
4位	池田 栄治	15位	木村 文雄	26位	松本 典丈
5位	辻田 稔	16位	江浦 善照	27位	酒向 正博
6位	田島 祥一	17位	西 泰宏	28位	小林 永典
7位	中谷 格	18位	野村 博之	29位	池田 裕之
8位	戸田 高司	19位	北 喜次	30位	夏原 和哉
9位	江本 将三	20位	中西 輝幸	31位	沼田 敏彦
10位	北角 尚弘	21位	山川 佳秀	32位	神山 裕義
11位	平石 正一郎	22位	梅林 豪		

交 流 委 員 会

越前カニ グルメな旅(越前三国)

委員長 夏 原 和 哉
(榊 ナ ツ ハ ラ)

組合員・賛助会員企業、そのご家族の方々を対象にした日帰りグルメツアーを平成27年11月22日(日)に毎回人気のある「カニ」を食しに、東尋坊近くの越前三国まで行きました。非常に人気の高い「カニツアー」ですので、当初、募集人数130名だったところ、170名を越える応募があり、理事長をはじめ、各理事の寛大な計らいで、応募された方皆さんを参加頂けることとなりました。最終の参加者は企業様33社、172名となりました。(バスも当初3台の手配でしたが、4台に急きょ増車致しました。)まずは、多数のご参加に御礼申し上げます。

当日は晴天に恵まれ、午前8時に全員元気よく、近鉄上本町駅から、バス4台で出発致しました。11月22日という絶好の行楽日ということもあり、交通渋滞を危惧したのですが、意外とスムーズに走行でき、2度のサービスエリアでの休憩をとりながら、福井県坂井市三国町にある「越前三国 三国観光ホテル」に12時前に到着。ホテル前で全員での記念写真を撮影後、宴会場へと向かいました。中江理事長、担当幹事の私のあいさつをさせて頂いた後、食事の開始。宴席には「ズワイガニの姿盛」「焼き蟹」「蟹なべ」など12品の蟹づくしの料理が!!「カニ料理は沈黙になる」と言われますが、本当に170名余りの方々がおられるのかと思われるぐらい、静かに(笑)おいしいカニ料理を頂きました。

お腹も一杯になって三国観光ホテルさんをあとにし、敦賀にある「日本海さかな街」でショッピング。(行楽シーズンですぐいお客さんの数で、ゆっくりと物色しながらのショッピングができなかったことをお詫びいたします。)

その後、帰路に。道中ビンゴゲームでお土産をゲットして頂きました。

越前 三国という長距離であったため、ホテルおよびお土産屋さんの滞在時間を短縮させて頂いたにもかかわらず、予定より30分遅れの19時30分ごろに無事上本町駅前に到着し、楽しい「グルメツアー」を終えることができました。

最後になりましたが、これからもたくさんの組合員様に喜んで頂ける「グルメ旅行」を企画していきますのでご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



参加者たち (ホテル前にて)



食事の様子

ねじづくりサポート会

情報交換会&懇親パーティ

会 長 森 嶋 勲
(理 化 工 業 株 式 有 限 公 司)

毎年12月恒例の「情報交換会&懇親パーティ」が、12月8日（火）大阪市・リーガロイヤルホテルにて約170名の参加者で開催されました。今年のテーマは「一人でも多くの人との出会いを！」です。そのためにいろいろな趣向を凝らしてみました。

まずは、ホストとしてのねじサポ会員の連帯感を高めるため、お揃いのオレンジTシャツに身を固めて組合員の皆様をお迎えすることとなりました。背中にはネジロボットが組合キャップをかぶって並んで座っている可愛いデザイン。24時間テレビのような恰好での直前ミーティングで気分を盛り上げての開始です。

いよいよ本番！司会には当会の元気印、大住姉さん（関西電工）と小嶋兄さん（小嶋鉄工所）です。中江理事長のご挨拶のあと、普通なら乾杯へと進むのですが今回は違います。大住姉さん考案の「お見合い グルグル回転名刺」のスタートです。まず同じテーブルの人たちと名刺交換をしていただきます。終われば次のテーブルに移動させられてまた名刺交換。終わればまた次へ。この時点でまだ乾杯はしていません。のどの渴きを訴える声も上がる中、新入社員研修でもこれほどしないだろうと言うくらいの名刺交換を終えて、ようやく乾杯へ。

実は、たくさんの名刺を集めた方には「名刺交換大賞」としてご褒美があります。栄える優勝は三星産業貿易(株)営業部の久保順子さん、準優勝は(株)平和化研の福田百合乃部長さんです。女性陣の積極さが光っています。虚偽申告や多少のズル（笑）で盛り上げてくれたのは男性陣。最後は、小嶋兄さん考案の全員がひとつの輪になっての久保さんのウイニングランです。170人にハイタッチで祝福をされて、きっと更に素晴らしい営業ウーマンになれることでしょう。

今回、少々強引ではあったかもしれませんが、ご意見も多々あろうかと存じますが、皆さんにご協力をいただいて、初の試みは無事終了しました。肝心の情報交換ができたかどうかは定かではありませんが、懇親の方は図っていただけなのではないかと信じています。来年もこれに懲りずにお集まりいただき、200名で迎えられるよう頑張ります。この日のここでの出会いの種が、この先、いろいろなところでいろいろな花になって咲いていくことを、ねじサポ会員一同、心より願っています。



受付



司会の大住氏(左)と小畠氏(右)



会場風景(名刺交換会)



会場風景(あいさつ)



名刺交換大賞表彰式



表彰状授与

自動車部品分科会

今年度の事業活動について

会長 橋 本 佳 隆
(株 ニ チ ワ)

会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

日頃は自動車部品分科会の活動に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当分科会では10月6日に組合事務所会議室にて「アセアンの概要と日系企業の動向～なぜ今注目が集まるのか」と題して講演会と懇親会を実施しました。

講師に森下善雄氏（三菱東京UFJ銀行 国際業務部 部長）をお招きし、資料を基にアセアン諸国の現状説明と日系企業進出のメリット、デメリット等を講演頂き、勉強しました。講演会の後には会場を布施の「あや田」へ移動し、懇親会を実施しました。

自動車部品分科会では今後も会員の皆様のお役に立つような事業を企画して参ります。今後ともご支援の程宜しくお願い致します。



分科会にて



熱心に講演を聴く

ドリルねじ分科会(日本ドリルねじ協議会)

ドリルねじ分科会の事業内容について

会 長 大 場 康 弘
(株 コ ク ブ)

2015年度の活動内容について報告させていただきます。

活動内容

平成27年4月10日	ゴルフ懇親会	田辺カントリー倶楽部	11名
平成27年4月28日	技術委員会	組合会議室	14名
平成27年5月12日	定例会	組合会議室	14名
平成27年6月2日	幹事会	シェラトン都ホテル大阪	6名
平成27年6月9日	技術委員会	組合会議室	12名
平成27年7月8日	定例総会	京都・宮川町「喜久屋」	21名
平成27年8月18日	技術委員会	組合会議室	13名
平成27年9月1日	定例会	組合会議室	16名
平成27年9月11日	工場見学会	マツダミュージアム	19名
平成27年10月28日	ゴルフ懇親会	六甲国際ゴルフ倶楽部	10名
平成27年10月29日	技術委員会	組合会議室	13名
平成27年11月10日	定例会・幹事会	しゃぶしゃぶ「田門」	16名



マツダミュージアムにて



定例総会にて

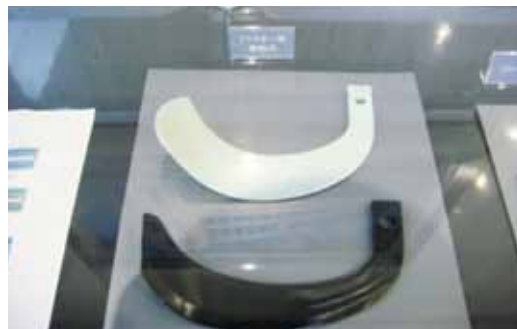
組 合 員 企 業 紹 介

株式会社小野製作所

1928年(昭和3年) 小野佐吉氏(小野製作所創業者)が農機具部品の製造販売を開始。
(主に耕耘機の爪を製造されていました)



設立当時の小野製作所 本社工場



トラクター用 耕耘爪

1965年(昭和40年) 岡山市藤田602番地にて株式会社小野製作所を設立。初代社長に小野孟氏が就任。1969年(昭和44年) ハイテンワッシャーの生産を開始。その2年後に今の社長である小野 衛氏が株式会社 小野製作所に入社されました。その時の取引先といえば、岡山の三菱自動車水島製作所(ミニカのドアのプレス部品)と三井造船玉野事業所(配線を止める板)そして大阪の朝日押捻子製作所さんだったそうです。



初代社長 小野孟氏

社長が入社された時は、ハイテンワッシャーが軌道に乗り出してきた時期であり、朝日押捻子製作所さんへは月に10万枚のワッシャーを出荷されていました。小野社長が度々言っておられたのが、小野製作所は大阪のお客様に育ててもらった会社だと言う言葉でした。

現在では、ハイテンボルトを製造販売している会社は新日鉄住金ボルテン(株)、神鋼ボルト(株)、滋賀ボルト(株)、帝国製鋌(株)、日本ファスナー工業(株)、日亜鋼業(株)、ユニタイト(株)、月盛工業(株)と少なくなりましたが、殆どの企業様とのお取引があり、大阪のお客様に育ててもらったという言葉は過言ではないようです。生産トン数は、ワッシャーの大きさに変わるので一概にはいえませんが1600トン/月。スクラップが出ますので製品としては820トンだそうです。バブルの2~3年間で最高の生産数量を記録しており、現在の2倍近い生産量があったそうです。

バブル崩壊後には、ワッシャーの注文数量が減り、主製品であった農機具の売上比率も5%を切っていた状況になっていた。

小野社長は、いくら売上が減ったからといっても、農機具の売上が5%を切ってしまうては、メイン商品であるハイテンションワッシャーしかないと思ったそうです。

その打開策としては、生産性を上げる事、製品品質をいかに高くするか。教科書通りのやり方ではなく、他社がしていない事、出来ない事をいかに遣り抜くかという事だったそうです。S 4 5 C材で1分間に60回転(2~3個取り)を5~7個取りで300回転でも撃ち抜く機械や技術の開発に努力されました。そのことで売り単価が安くとも、生産性と品質を上げることで利益を確保できるようになったそうです。

現在では1分間に1500回転という機械もあるそうです。もちろん、金型の技術、機械の段取り、油、全てが揃わなければ1500回転は回せません。

海外企業との競争においては、韓国の輸出自由地域にあった会社が、ポスコの安い材料で生産、関税なしでアメリカへ輸出していた時、小野社長は、材料が1万円高くても勝てる方法として、今まで培ってきた技術や生産効率を更に向上させることをされました。

今では製造に係る人件費比率が3%台と聞いた時には驚かされましたが、生産現場における社員さんの数が27名(品証、検査を入れて)という数を聞いて納得はしたものの、どれだけ生産性の改善を図ってきたのか、想像以上に努力されてきたのだと改めて感動しました。

小野製作所さんでは、どのような要望に対しても断ることはしないそうです。お客様が困っているなら何とかしてあげようと言う気持ちが、いまでは扱い品種で1,000種類を超えているそうです。

誠に失礼な言い方ですが、ただ板を抜くだけの製品では他社との競争も激しく、価格も安いだろうと思っていました。

小野社長の話を聞いている内に、ワッシャーという製品に、此れ程までに品質要求があり、ねじを締め付ける上で重要なものであることを教えていただきました。私たちが作っているねじは、たかがねじですが、ワッシャーと同じように、まだまだ改善する余地があり、お客様に喜んでいただける価格、そして品質を作り込まねばならないのだと思います。

今回は中江理事長はじめ、10名という多人数で取材をさせて頂き、誠にありがとうございました。

(樫本 宏志、記)



小野常務・小野社長・小野専務・西村営業グループ長



本社工場

行事経過及び予定一覧表

月	日 付	内 容	主 催
12	4 日	第2回労務リスクマネジメントセミナー	総 務 委 員 会
	5 日	玉掛け技能講習(12月5日・12月13日)	人 材 開 発 委 員 会
	8 日	ねじづくりサポート会親睦&情報交換会	ねじづくりサポート会
	15 日	ボルト分科会 会合&懇親会	ボ ル ト 分 科 会
	15 日	特殊ファスナー分科会 会合&懇親会	特 殊 ファ ス ナ ー 分 科 会
	18 日	ドリルねじ分科会会合	ドリルねじ分科会
1	8 日	新春互礼会 大鉄協との合同(シティプラザ大阪)	総務委員会・三役会
2	17 日	管理者向け研修会(シティプラザ大阪)	人 材 開 発 委 員 会
	23 日	ドリルねじ分科会会合	ドリルねじ分科会
	24 日	第84回理事会	総 務 委 員 会
3	1 日	ドリルねじ分科会会合	ドリルねじ分科会
	2 日	技術展示会(産創館)	ねじづくりサポート会
	2 日	第2回公開講演会(勉強会)(産創館)	技 術 開 発 委 員 会
	9 日	工場見学会(岐阜県大垣市コベルコ建機株)	人 材 開 発 委 員 会
	23 日	第26回親睦ゴルフコンペ(泉南カンツリークラブ)	交 流 委 員 会
4	19 日	第85回理事会	総 務 委 員 会
	26 日	ドリルねじ分科会会合	ドリルねじ分科会
5	17 日	ドリルねじ分科会会合	ドリルねじ分科会
	25 日	第14回関西ねじ協同組合総会(ロイヤルホテル)	総 務 委 員 会
6	7 日	ドリルねじ分科会会合	ドリルねじ分科会
	19 日	第14回親睦ボウリング大会(桜橋ボウル)	交 流 委 員 会
	23 日	第86回理事会	総 務 委 員 会

※2月末現在の事業予定です。

事務局より

代表者変更

日本テクノシェーン株式会社

平成27年9月、代表取締役社長に六車 拓哉氏が就任されました。

アカマツフォーシス株式会社

平成27年9月、代表取締役会長に赤松 憲一氏が、代表取締役社長に赤松 隆司氏が就任されました。

住所変更

平成27年9月24日 株式会社ノムラは本社と第二工場を集約し、大阪市港区波除6丁目2-26に移転されました。

業態変更

平成28年1月1日付けで新城製作所は有限会社より株式会社に変更となります。